

## Press Release

2020年12月17日

### 気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)の提言に賛同

アステラス製薬株式会社(本社:東京、代表取締役社長 CEO:安川 健司、以下「アステラス製薬」)は、このたび、金融安定理事会(Financial Stability Board: FSB)により設置された気候関連財務情報開示タスクフォース<sup>\*1</sup>(Task Force on Climate-related Financial Disclosures: TCFD)の提言に賛同しました。アステラス製薬は、気候関連の財務情報開示を推奨する TCFD の提言に基づき、2021 年度から気候変動が事業に与えるリスク・機会について分析し、「ガバナンス」「戦略」「リスク管理」「指標と目標」の4つの視点で気候変動対策についての積極的な情報開示を進めていきます。

アステラス製薬は、世界の人々の健康に貢献する企業として、持続可能な社会に貢献していくため、地球環境と調和した事業活動に取り組んでいます。その中でも気候変動対策については経営の重要課題と位置づけ、研究・製造拠点での温室効果ガスを排出しない再生可能エネルギー由来の電力の購入、風力発電・バイオマスボイラーの導入や、ハイブリッド営業車の導入など、積極的な温室効果ガス削減策を実施しています。これらの取り組みにより、2015 年度を基準として温室効果ガスの排出量(スコープ 1+2)<sup>\*2</sup>を 18.5%削減しています(2019 年度)。気候変動対策についての情報は、当社 WEB サイト<sup>\*3</sup>にて開示しています。

また、2018 年 11 月には、アステラス製薬の温室効果削減目標が、パリ協定に沿った削減目標を企業が設定することを推奨する Science Based Targets イニシアチブ(SBT/科学的知見と整合した削減目標)より認定を受けました。さらに、2021 年度から新たにスタートする次期経営計画の中では、企業価値の持続的向上の観点から、サステナビリティへの取り組みも重要な戦略の一つとして位置付ける予定です。

アステラス製薬は、今後も気候変動など世界的な環境課題の解決に向けての取り組みを強化し、地球環境と調和した事業活動を通じて、世界の人々の健康に貢献していきます。



以上

**\*1 気候関連財務情報開示タスクフォース (TCFD) :** TCFD (Task Force on Climate-related Financial Disclosures) は、主要国・地域の中央銀行、財務・金融当局などが参加する国際機関・金融安定理事会 (FSB) によって、金融市場の安定化を目的として気候関連の情報開示および金融機関の対応を検討するために 2015 年 12 月に設立された作業部会です。世界全体では 1,484 の企業・機関が賛同を示し、日本では 314 の企業・機関が賛同の意を示しています (2020 年 10 月 28 日時点)。

**\*2 スコープ:** 温室効果ガスの排出量の算定範囲

スコープ 1+2: 自社で使用した燃料と購入した電力に伴う温室効果ガスの排出

**\*3 アステラス製薬の気候変動対策**

<https://www.astellas.com/jp/ja/responsibility/Measures-To-Address-Climate-Change>

#### **アステラス製薬株式会社について**

アステラス製薬は、世界 70 カ国以上で事業活動を展開している製薬企業です。最先端のバイオロジーやモダリティ/テクノロジーの組み合わせを駆使し、アンメットメディカルニーズの高い疾患に対する革新的な医薬品の創出に取り組んでいます (Focus Area アプローチ)。さらに、医療用医薬品 (Rx) 事業で培った強みをベースに、最先端の医療技術と異分野のパートナーの技術を融合した製品やサービス (Rx+<sup>®</sup>) の創出にも挑戦しています。アステラス製薬は、変化する医療の最先端に立ち、科学の進歩を患者さんの価値に変えていきます。アステラス製薬の詳細については、(<https://www.astellas.com/jp/>) をご覧ください。

#### **注意事項**

このプレスリリースに記載されている現在の計画、予想、戦略、想定に関する記述およびその他の過去の事実ではない記述は、アステラス製薬の業績等に関する将来の見通しです。これらの記述は経営陣の現在入手可能な情報に基づく見積りや想定によるものであり、既知および未知のリスクと不確実な要素を含んでいます。さまざまな要因によって、これら将来の見通しは実際の結果と大きく異なる可能性があります。その要因としては、(i) 医薬品市場における事業環境の変化および関係法規制の改正、(ii) 為替レートの変動、(iii) 新製品発売の遅延、(iv) 新製品および既存品の販売活動において期待した成果を得られない可能性、(v) 競争力のある新薬を継続的に生み出すことができない可能性、(vi) 第三者による知的財産の侵害等がありますが、これらに限定されるものではありません。また、このプレスリリースに含まれている医薬品 (開発中のものを含む) に関する情報は、宣伝広告、医学的アドバイスを目的としているものではありません。

---

#### **お問い合わせ先:**

アステラス製薬株式会社

コーポレート・アドボカシー&リレーション部

TEL: 03-3244-3201 FAX: 03-5201-7473